

# 館報

# はた



平成 27 年 9 月 1 日 現在

世帯数	5,908 戸
人口	15,666 人
男	7,576 人
女	8,090 人

## 波田さいさい祭

7月25日 波田扇子田運動公園

暑い日差しが照りつける中、7月25日、第35回「波田さいさい祭」が今年も盛大に開催されました。

会場には数多くの出店が並び、大勢の人で賑わっていました。その中的一部分ですが、イベントの状況をお伝えいたします。

### 波田地区金融団

こちらの会場は、開催時間が近づくと、賑やかになり、大勢の方が参加していただきました。200以上の景品が用意されており、「リーチだ!」とか「やったビンゴ」等、喜びの声が飛び交っていました。

会場を大いに盛り上げていただいた金融団のみなさん、ありがとうございます。



### スイカのランタン作り



スイカのランタン作りの会場も時間が経つにつれ、行列ができる賑わいとなりました。親子連れを中心に、ご夫婦等の参加もありました。用意されたスイカをスタッフの説明を受けてから、見本を参考にさまざまなスイカランタンを作っていました。

隣では、スイカ割りを楽しそうに行われていました。



### ステージ発表

ステージ発表会場で、中学校の吹奏楽発表に始まり、各種発表が行われました。



オープニングセレモニーでは、「松本水輪花火大会」のポスターデザイン表彰式が行われました。その後各種団体によるダンスが熱演され、マジック等のイベントもあり、星が見え始める花火直前の和太鼓演奏が始まるころには、会場の人出もピークに達したと思われまふ。

今年も見事な花火が夜空に咲きました。来年の夏も、多くの方のご来場をお待ち申し上げます。



## 8区 楽しく防災訓練

8区では9月6日防災訓練を行いました。組長による隣組単位の安否確認の後、簡易担架の作り方や炊き出し訓練を行いました。今年子ども会育成会とも連携し、将来を担う子ども達にも是非参加をと呼びかけました。

避難指定場所である公園には小・中学生からお年寄りまで大勢の皆さんが参加され、8区防災組織隊長の元消防士中野一男さんの指導のもと、もしもの際に役立つ方法を実際に体験しました。

簡易担架は2本の木材や竹に毛布1枚を巻き付けるだけで、人が乗っても大丈夫な担架に早変わり。子どもたちも作ってみてびっくりでした。また、炊き出し訓練は非常



時に身近にあるものを使ってご飯を炊く!という主旨で企画され、竹とアルミ缶での御飯炊きに挑戦しました。子どもたちが木切れで火を起し、網の上に竹やアルミ缶で作った米入り容器を載せてご飯炊き開始です。大人も子どもも初めての経験でしたが、美味しく炊きあがり、カレーをかけていただきました。

身近な物を使った非常時のアイデアは、日常で実践することはほとんどありません。中野さんからは「従来からの固定化された訓練ではなく、身の周りのモノを使いながら訓練のあり方も少しずつ変えて行き、繰り返すことで皆の意識を高めていくことが大切」とのこと。訓練とは厳しいものでなくてはなりません、この日の子どもたち、町会の皆さんとちよっぴり楽しめたのかも知れません。

# ふれあいコンサート

8月23日(日)に波田公民館文化委員会主催による、平成27年ふれあいコンサートが開催されました。

楽活動を行っており、活躍は国内のホテル、旅館、コンサートホール、バー等々いたる所で見かけることが出来るそうです。  
想像していたとおり、さすがプロの方々に結成されたバンドは、クオリティの高さが前説どおりでした。ピアノ、ドラム、ベース、ギターの演



「西洋楽器を用いた高度な西洋音楽の技術、およびアメリカ系アメリカ人の独特のリズム感覚と音楽形式とが融合して生まれた。演奏の中に掛け合い演奏、複合リズムなどの要素を組み込んでいることが、大きな特徴とされている。その表現形式は自由なものである。」と、堅苦しい説明ではありませんが、簡単に言えばジャンルにこだわらない自由な音楽ということでしょうか。  
さて「Free Cell」は、2007年に第3回塩尻市民音楽祭参加のために結成、これを機に毎年塩尻市民音楽祭に参加しているそうです。参加メンバーは普段、各自で音

奏、そしてヴォーカルの歌が始まるとジャズの世界にいつの間にか引き込まれ、自然に足がリズムをとっていきます。  
日常から離れ、限られた時間でしたが、主催の文化委員会、「Free Cell」の皆さんには感謝、感謝。ご苦勞様でした。

## ソフトバレーボール大会 24区 熱烈



町内公民館対抗女子及び男女混合ソフトバレーボール大会が7月5日(日)に開催されました。24区の事前練習は6月27日(土)と7月4日(土)の2日間行いました。午後7時30分～9時30分の2時間でした。

いよいよ 本番：7月5日(日)の天気は曇り、少し肌寒い日となりました。会場は波田中学校の体育館と波田体育館とに分かれ、8時開始で行われました。  
24区の試合結果は男女混合ソフトバレーボールが2試合勝ち、練習の成果が十分発揮でき、皆で力を合わせボールを追いかけ、いい汗がかけました。  
慰労会も無事終わり、少し



普段では見られないお母さんたちの姿に力も入り、和気あいな練習風景でした。足を上げ、体をねじり、すつころび、皆さん筋肉痛になったのではないのでしょうか。(若かった頃はもう少し上手に出来たのに、と思っただけです。)  
明日は本番。



酒が入り酔ってる姿がほほえましい。



明日も主婦頑張れ！おつかれさま。



とある飲み会での会話時は7月、所は天の下に名高いブランドスイカの産地。「今年は長雨でスイカが甘くなるか心配だねえ？」そんな疑問をよそにすぐ答えが帰って来ました。「大丈夫さあ、この道何年のプロが作るんだもん！」下原スイカ応援団としては何とも頼もしい答えをいただきました。頼もしいといえば、この頃畑を散歩していると若い人が仕事しているのをよく見かけるけど、「このあたりでスイカ農家の後継者ってどうなの？」「下原ではねえ、たいてい跡取ってるよ。そうなんです。今や日本中の農家が高齢化してこの先が危ぶまれている中で、うれしい答えじゃないですか。波田の農家の未来は明るいということですね。いやあ、若い人たちが朝から晩まで真っ黒になって働いているのを見ると、今年もおいしいスイカをどうぞよろしくって頭が下がります。更に彼ら若い人たちの話を聞いていくと、どうやら地区消防団の活動も、スイカ農家の後継者さんたちが支えてくれていて」という現状を知って、思わず「ガンバレ、波田農家！そしてガンバレ、下原消防団！」って叫んじゃいました。

とある飲み会での会話時は7月、所は天の下に名高いブランドスイカの産地。「今年は長雨でスイカが甘くなるか心配だねえ？」そんな疑問をよそにすぐ答えが帰って来ました。「大丈夫さあ、この道何年のプロが作るんだもん！」下原スイカ応援団としては何とも頼もしい答えをいただきました。頼もしいといえば、この頃畑を散歩していると若い人が仕事しているのをよく見かけるけど、「このあたりでスイカ農家の後継者ってどうなの？」「下原ではねえ、たいてい跡取ってるよ。そうなんです。今や日本中の農家が高齢化してこの先が危ぶまれている中で、うれしい答えじゃないですか。波田の農家の未来は明るいということですね。いやあ、若い人たちが朝から晩まで真っ黒になって働いているのを見ると、今年もおいしいスイカをどうぞよろしくって頭が下がります。更に彼ら若い人たちの話を聞いていくと、どうやら地区消防団の活動も、スイカ農家の後継者さんたちが支えてくれていて」という現状を知って、思わず「ガンバレ、波田農家！そしてガンバレ、下原消防団！」って叫んじゃいました。